

ミニディスクロージャー誌 2006 第82期 営業のご報告

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行



あなたのまちの
筑邦銀行

ごあいさつ

皆さま方には平素より筑邦銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当行の平成17年度の業績と現況などについてご説明したミニディスクロージャー誌を作成いたしました。本誌を通じて、私どもに対するご理解をより一層深めていただけましたら幸いです。

当行は、平成15年4月からスタートさせた「21世紀第2次中期経営計画」の中で、「選択と集中」を行動指針として、「収益構造の改善」、「安定した資金調達能力の向上」、「顧客サービスの質的向上」等の経営課題に全行一丸となって取り組んだ結果、平成17年度の連結決算業績については、当期純利益941百万円と当行の最高益を計上いたしました。

また、地域金融機関の大競争時代を迎える中で本年4月には、新たに、「中期経営計画2006」を策定いたしております。本中期経営計画では、「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」を目指して、「持続的な収益力の強化」、「地域密着型金融の高度化」、「企業風土の変革」を基本方針に、「法令等遵守」等を柱とする経営管理態勢の一層の強化を図りながらスピード感とチャレンジング・スピリットをもって、経営課題に取り組んでまいります。

今後とも、これまでにつちかってきた健全性や、地元のお客さまとのコミュニケーションなどの経営基盤をベースにして、地域の特性やお客さまのニーズ等にお応えすべく、利便性の向上に努めてまいりますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成18年6月

代表取締役頭取 山下 洋

目次

	頁		頁
ごあいさつ／プロフィール	1	トピックス	7
経営方針	2	地域貢献情報	9
決算の概況	3	地域経済の活性化／社会貢献活動	11
資産・負債、損益		利便性	13
当行の健全性	5	店舗ネットワーク	15
自己資本比率、格付け		店舗外現金自動設備設置場所	17
有価証券評価損益		財務のご報告	19
不良債権		役員／株式の状況	22

筑邦銀行プロフィール

設立	昭和27年12月23日
総資産	5,564億円
預金・譲渡性預金	5,084億円
貸出金	3,953億円
資本金	80億円
株主数	3,401名
従業員数	589名
店舗数	42か店

(平成18年3月31日現在)

～「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」を目指して～

中期経営計画2006

(2006年4月～2009年3月)

当行は、本年4月より、新しい「中期経営計画2006」をスタートいたしました。

本中期経営計画では、「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」を目指して、「持続的な収益力の強化」、「地域密着型金融の高度化」、「企業風土の変革」を基本方針としました。

これらの基本方針を「営業部門戦略」をはじめとする5つの戦略と「法令等遵守」等を柱とする経営管理態勢の強化によって実現してまいります。

目指すべき当行の姿

地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行

取組むべき課題

- ◎企業価値向上のための
 - (1) 収益構造の改善(マーケット運用力の強化)
 - (2) 経営資源の再分配
- ◎利用価値向上のための
 - (1) お客さま第一主義の徹底
 - (2) サービスの質の向上(セキュリティの強化)
 - (3) プロフェッショナルの育成
- ◎経営インフラ強化のための
 - (1) システム基盤の拡充
 - (2) リスク管理強化
 - (3) コンプライアンスの徹底

基本方針

1. 持続的な収益力の強化
 - 営業基盤の拡充、営業力の強化
 - ローコスト・オペレーションの追求
2. 地域密着型金融の高度化
 - 地域のお客さまに対する相談業務の充実
 - 提案型営業の強化
3. 企業風土の変革
 - スピード・決断力・実行力の向上
 - チャレンジング・スピリットの醸成

求められる当行の姿

- ◎地域と社会から信頼される銀行
- ◎利便性の高い銀行
- ◎何でも相談できる銀行
- ◎安心して取引できる銀行
- ◎投資価値の高い銀行

戦略

営業部門戦略

- エリア戦略への取組
- 個人預り資産の増強(個人戦略)
- 問題解決型金融・サービスの提供(法人戦略)

市場部門戦略

- マーケット運用力の強化
- 市場部門リスク管理の強化

事務部門戦略

- 営業店事務効率化の推進
- 事務管理の高度化

IT・システム部門戦略

- IT関連商品・サービスへの取組強化
- セキュリティ対策の強化
- システム基盤強化

人事部門戦略

- プロフェッショナル集団の養成
- 従業員満足度の向上

経営管理の高度化

コンプライアンス

- コンプライアンス態勢の強化
- お客さま保護に関する管理強化

リスク管理

- 統合リスク管理への取組
- 信用リスク管理の高度化

内部統制の充実

- 内部統制システムの高度化

収益管理

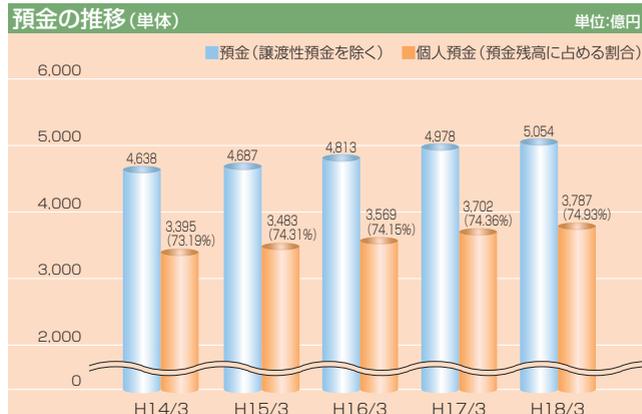
- システムの高度化による収益管理の強化

決算の概況

資産・負債

預金

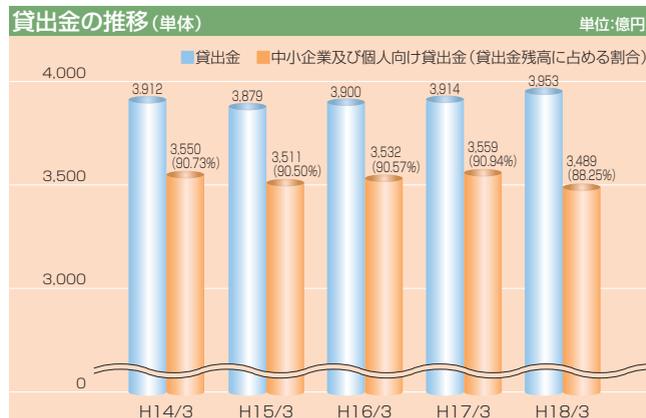
預金は、資金調達のコアとなる個人預金を中心に順調に増加したことなどから前期末比76億円増加して5,054億円となりました。



貸出金

貸出金は、地元中小企業を中心とした新規取引の拡大やビジネスローンの販売に注力するとともに、個人のお客様に対しても住宅ローンを始めとした資金ニーズにお応えするために積極的な営業活動に努めた結果、前期末比39億円増加して、3,953億円となりました。

当行は、今後も地域経済の活性化や郷土の発展にお役に立つことを重要な社会的使命と考え、貸出運用に努めて参ります。



有価証券残高

有価証券は、先行きの金利上昇に備え、変動利付債への資金運用を増加させるなど、運用対象の多様化を図ったことなどから前期末比90億円増加して、1,108億円となりました。今後も、収益性と安全性に留意した運用に努めて参ります。

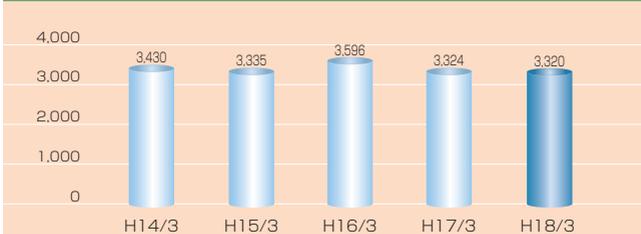


損益

業務純益

業務純益は、資金運用利回りの低下による資金利益の減少等により、前期比4百万円減少して33億20百万円となりました。

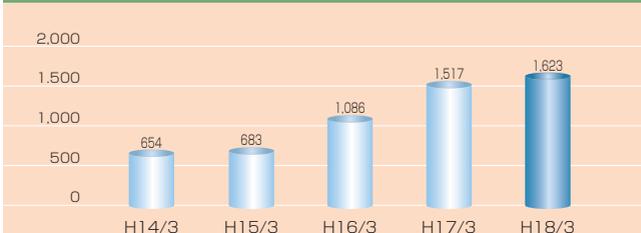
業務純益(単体) 単位:百万円



経常利益

株式等売却益の増加等により、経常利益は前期比1億6百万円増加して16億23百万円となりました。

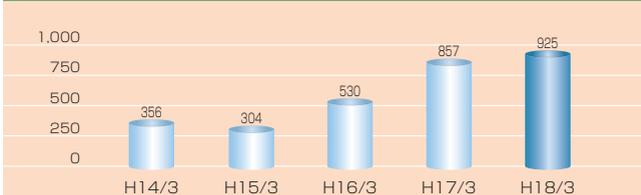
経常利益(単体) 単位:百万円



当期純利益

当期純利益は、経常利益の増加により前期比68百万円増加して9億25百万円となりました。

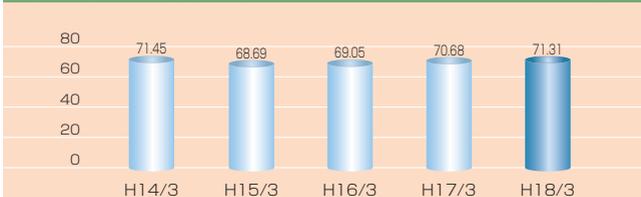
当期純利益(単体) 単位:百万円



業務粗利益経費率(OHR)

経営効率化の重要な指標としての業務粗利益経費率(一定の粗利益を稼ぐのにどれだけの経費をかけているかを示す指標)は、人件費、物件費等の節減に努力して参りましたが、平成18年3月期は71.31%となりました。

業務粗利益経費率(OHR) 単位:%



●収益の用語解説

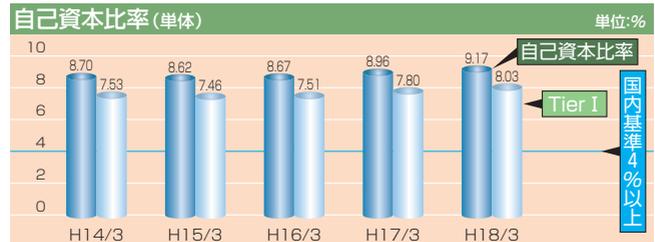
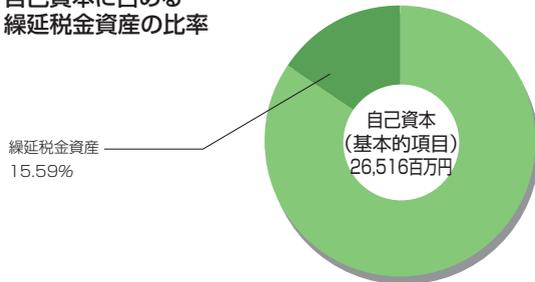
- 1.業務純益とは** 銀行の利益を見る上での重要な指標で、預金・貸出金等銀行本来の業務から生まれた利益。一般企業の「営業利益」に相当します。
- 2.経常利益とは** 業務純益に貸出金償却等の臨時損益を加減算したものです。
- 3.当期純利益とは** 経常利益に特別損益と税金を加減算したもので、銀行が決算期間中に得た最終利益です。

当行の健全性

自己資本比率 (国内基準4%以上)

平成18年3月末の自己資本比率は、国内基準を上回る9.17%となり、健全性を見る上で特に重要だと言われているTier I比率 (中核的自己資本比率) も8.03%と高い水準にあります。また自己資本に計上している繰延税金資産の比率は、基本的項目 (Tier I) の15.59%と低い水準になっています。

自己資本に占める 繰延税金資産の比率



●自己資本比率の用語解説

- 1.自己資本比率とは** 銀行の貸出等総資産に対する自己資本額の割合です。この比率が高いほど不良債権等に対する備えが充実していることを示すため、銀行の健全性を表す重要指標の一つになっています。なお、当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は、国内基準 (4%) を維持することが義務づけられています。
- 2.Tier I比率とは** 資本金や任意積立金などの基本的項目 (Tier I) のみから算出される自己資本比率です。
- 3.繰延税金資産とは** 会計上は今期に払わなくてよい税金についての「前払い」額を、資産として計上したもの。会計上の費用 (または収益) と税法上の損金 (または益金) の認識時期の違いによる「一時差異等」を税効果会計によって調整することで生じます。

格付け

当行は、格付けについて公正で権威ある日本格付研究所からA-格付を取得しており、安全性について高い評価を受けております。(平成18年2月13日現在)

●格付けの用語解説

格付けとは 一般的に企業が発行する債券や銀行預金の元金・利息支払いの安全度を示す指標で、このランクが上位に位置するほど安全性が高いとされています。
※ A AからBまでの格付け記号には同一等級内での相対的位置を示すものとしてプラス (+) もしくはマイナス (-) の符号による区分があり、一般的にB B B (-) 以上が「投資適格等級」といわれています。

有価証券評価損益

有価証券の評価損益は、市況の好転等により前期比で株式が37億97百万円増加したものの、債券は18億49百万円減少しました。この結果、評価益と評価損を通算した評価益は72億71百万円となっております。

有価証券 (その他有価証券で時価のあるもの) の評価損益 (単体) 単位:百万円

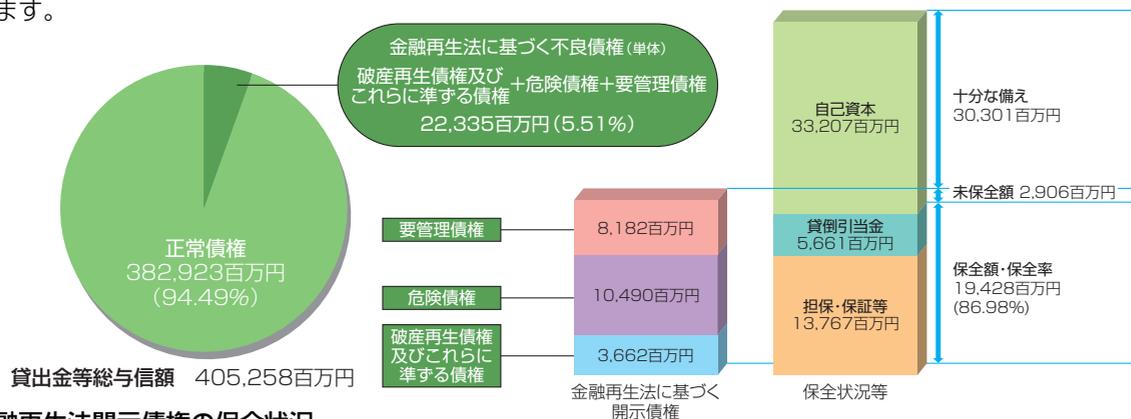
	評価損益	評価益	評価損
株式	8,022	8,184	161
債券	△909	139	1,049
外国証券	△69	—	69
その他	227	252	25
合計	7,271	8,577	1,305

不良債権

金融再生法に基づく平成18年3月期の貸出金等の総与信額は4,052億58百万円となり、そのうち回収に懸念のない正常債権は3,829億23百万円で94.49%を占めております。

一方、不良債権は223億35百万円（総与信額の5.51%）となり、平成17年3月期の269億15百万円（総与信額の6.71%）と比べ、45億80百万円減少しました。また、この不良債権の86.98%（194億28百万円）は、担保・保証等や引当金で保全されています。残りの29億6百万円につきましても、お取引先の経営状態から直ちに引当を要するものではありませんが、仮に貸倒が発生したとしても、当行の自己資本は332億7百万円あり備えは十分で、当行の資産内容の健全性をご理解いただけるものと存じます。

今後も皆様方の資金需要にお応えしながらも、審査、信用リスク管理を徹底しながら、資産の健全性確保に努めて参ります。



●金融再生法開示債権の保全状況 (単体)

単位：百万円

平成18年3月31日	破産再生債権等	危険債権	要管理債権	合計
開示債権額 (A)	3,662	10,490	8,182	22,335
担保・保証等による保全額 (B)	2,583	6,678	4,504	13,767
対象債権に対する貸倒引当金 (C)	1,078	3,811	770	5,661
保全額 (D) = (B) + (C)	3,662	10,490	5,275	19,428
開示額に対する保全率 $\frac{(D)}{(A)}$	100.00%	100.00%	64.47%	86.98%
担保・保証等による保全がない額 (E) = (A) - (B)	1,078	3,811	3,677	8,567
引当率 $\frac{(C)}{(E)}$	100.00%	100.00%	20.96%	66.07%

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

●不良債権の用語解説

- 破産再生債権及びこれらに準ずる債権とは** 破産、会社更生、再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
- 危険債権とは** 債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権。
- 要管理債権とは** 3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。
- 正常債権とは** 債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権。

トピックス

バイヤーによる商談会を3回開催 (平成17年10月～18年6月)

北部九州ビジネスマッチング協議会の主催で量販店、コンビニチェーンのバイヤーを招いての商談会を久留米商工会議所で開催しました。当行のお取引先の参加企業は14社でした。

PFI事業セミナーの開催 (平成17年11月)

PFI事業への理解と同事業の国内での動向の説明を目的として当行大ホールでPFI事業セミナーを開催いたしました。地元地公体・地元企業・金融機関から85名の参加がありました。



※PFI事業とは、民間の資金、経営能力および技術能力等を活用して公共施設等の建設、維持管理、運営等を行う手法。日本では1997年に「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(所謂、PFI法)が制定されました。

構造計算書偽造問題に係る相談窓口の設置 (平成17年12月)

当行では、今般のマンション等の設計に用いる構造計算書の偽造問題が社会問題化していることを踏まえ、これらのマンション購入者からの相談に対応するために、融資部内に「構造計算書偽造問題 相談窓口」を設置しました。

ホームページのリニューアル (平成18年2月)

インターネットバンキングの全面改良

お客さまの視点に立った、これまで以上にわかりやすく、使いやすいページデザインとしたほか、お客さまのご利用目的に応じて必要な情報に簡単にアクセスできるような構成とするなど利便性向上を図っております。また、インターネットバンキングについても全面改良をいたしました。

主な改良点は、①「はじめてご利用いただく方はこちら」と画面表示をし、②インターネットバンキング専用の「ヘルプデスク(外部委託)」を開設して、商品内容や操作方法について専門知識を有した担当者が電話にて回答するよう整備しました。また、操作に困ったとき、お客さまを「ヘルプデスク」へ誘導できるよう、画面やお客さま宛ての案内文書に表示しました。



本部機構の一部改正 (平成18年4月)

今回の改正は、「内部管理態勢の強化」、「収益力の強化」、「お客さま満足度の向上」を目的として実施しました。

改正の内容

- (1) 経営監査部を「監査部」と「経営管理部」に分割しました。
- (2) 事務部を「事務部」と「システム部」に分割しました。
- (3) 営業推進部内に「お客さまサービス室」を新設しました。
- (4) 「業務部」を新設し、部内に法人、個人、金融商品等のグループを設けました。また、融資管理部／経営サポート室を発展的に解消し、各種コンサルティング機能を強化した上で業務部へ移管しました。
- (5) 融資部と融資管理部を統合し、「融資部」としました。

「地域密着型金融推進計画」(17年度～18年度)の進捗状況の公表 (平成18年5月)

平成17年3月に金融庁より公表されました「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」に基づき策定しました「地域密着型金融推進計画(平成17年度～平成18年度)」について、平成17年4月～平成18年3月の進捗状況を公表いたしました。

この計画の進捗状況につきましては、当行のホームページを通じて半期ごとに公表するほか、ディスクロージャー誌にも掲載して参ります。

「西鉄花畑駅」への店外ATMの設置 (平成18年4月)

お客さまの利便性向上をはかるために「西鉄花畑駅」に店外ATMを設置しました。

預金の不正引出防止対策

近年、盗難カードや偽造カードによるCD・ATM機での不正引出が多発しておりますが、当行ではお客さまのご預金の不正引出防止対策として様々な防止策を講じています。

対策項目	内容
のぞき見防止フィルム	CD・ATM機の操作画面にのぞき見防止フィルムを貼り、お客さまのうしろや横から暗証番号等をのぞき込まれないように安全性を高めています。
後方チェックミラー	CD・ATM機の操作中にお客さまの後方がチェックできるようにミラーを取り付けております。
ATMでの「暗証番号の変更」・「利用限度額引下げ」機能	ATMでの一日あたりのご利用限度額※を200万円に引下げていますが、不正引出被害の全国的な増加を受け、お客さまのご預金保護のため、「暗証番号の変更」・「利用限度額引下げ」を、窓口でのお取扱いに加えて、お客さまが直接ATM機で行うことができるようにしています。
盗難・偽造等の24時間受付	カード等の盗難・偽造等の被害の未然防止や拡大防止をはかるために、お客さまからの緊急連絡を、24時間受付できるようにしました。

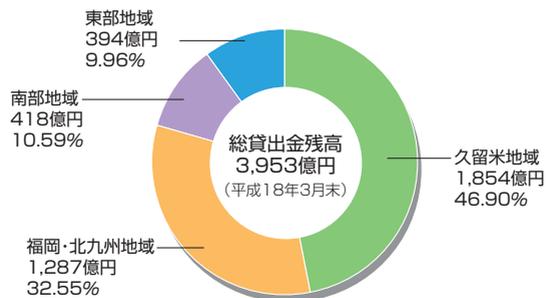
※ご利用限度額について

・ご利用限度額には当行のATMでのお引出し、お振込(振込資金の引落し)のほか、提携金融機関でのお引出し、デビットカードのご利用金額を含みます。

地域貢献情報

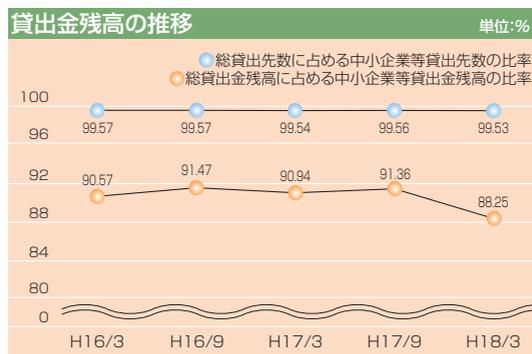
地域別貸出金残高

当行が地域のお客さまからお預かりした大切な預金は、そのほとんどを地域の企業や個人の方々への貸出に向けており、「地域の資金は地域のために」という当行創立の趣旨を堅持し、地域金融機関の使命を果たしております。



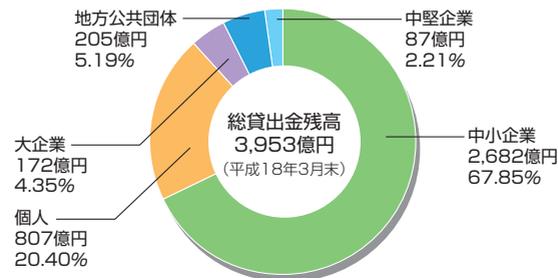
中小企業等貸出金比率、先数比率

中小企業及び個人の方々に対する貸出金の割合は、88.25% (中小企業67.85%、個人20.40%)、先数比率でも99.53%と高い割合を維持しています。



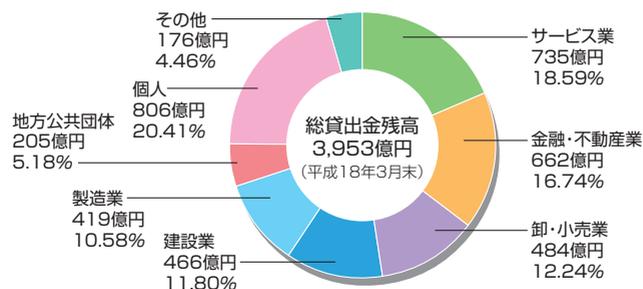
マーケット別貸出金残高、貸出金比率

当行は創業時より地域の中小企業や個人の方を中心とした貸出を行っており、今後もこの方針を変更することなく、お客さまのニーズを的確につかみ、必要とされる資金・金融サービス・各種金融情報をタイムリーに提供して参ります。



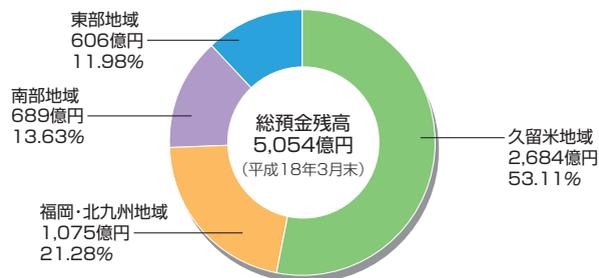
業種別貸出金、貸出金比率

当行は、リスク管理の面等から地方公共団体や個人以外では一定の業種に偏ることなく各業種に概ね均等に貸出を行っております。



地域別預金残高、預金比率

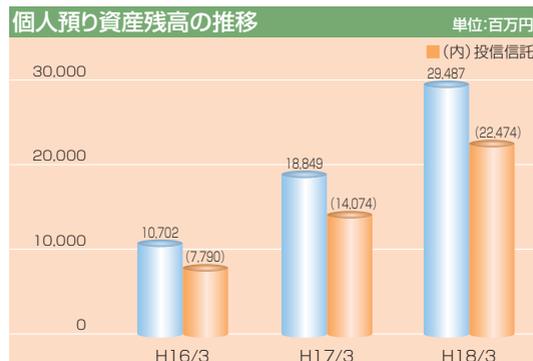
当行は、地域に根差した金融機関として、創立以来地域の皆さまからのご信頼をいただき、預金は個人預金を中心に順調に推移しております。今後もお客さまのニーズにあった魅力ある金融商品の提供に努めて参ります。



個人預り資産の推移

当行は、お客さまの多様化する資金運用ニーズにお応えする投資信託や国債を取扱っております。低金利状況が長期化する中で資産運用が多様化していることにより、個人預り資産は投資信託を中心に前期末比106億38百万円増加し、294億87百万円となりました。

※個人預り資産＝投資信託、個人年金保険、外貨預金、公共債の合計



事業再生・中小企業金融の円滑化

地域経済の活性化に向けて、中小企業への円滑な資金供給や経営改善支援、企業再生などに積極的に取り組んでいます。

1. 創業・新事業支援機能等の強化

「北部九州地区産業クラスターサポート金融会議」、
「福岡県バイオ産業拠点推進会議」などに積極的に参画するとともに、政府系金融機関等と協調し、産学官連携事業に積極的に取り組んでいます。

小規模事業者の創業・企業支援では、久留米市の「新規開業審査会」のメンバーとして5回の審議に参加し、11先、41百万円の事業資金を実行しました。

2. 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

①中小企業に対するコンサルティング機能の強化

金融機関では全国初となった(社)中小企業診断協会福岡県支部との業務提携により、中小企業診断士と連携して地域企業の経営改善および企業再生支援を推進しております。特に経営相談会は平成16年4月から平成18年3月までに23回開催しており、延べ126社のお取引先が参加されました。

経営相談会は、毎月第3木曜日に本店で開催していますが、お取引先のご都合を考慮し出張経営相談も行っています。

②ビジネスマッチング情報提供機能の強化

「北部九州ビジネスマッチング協議会」での情報提供の推進のために、中小企業基盤整備機構、久留米市、(株)久留米ビジネスプラザと協定書を締結しました。「北部九州ビジネスマッチング協議会」のホームページを作成し会員情報の登録・情報発信メールマガジンの運用を開始しました。平成18年3月末現在で当行での同協議会申込み会員企業は73社です。

3. 事業再生に向けた積極的な取り組み

中小企業再生支援協議会、(社)中小企業診断協会

福岡県支部や提携金融機関および地域の専門家の積極活用により、事業再生の効果的・効率的な実践を徹底しております。

4. 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等

①CRD(中小企業信用リスクデータベース)を利用した福岡県等との提携商品「元気フクオカ資金」、保証会社各社・各地商工会議所との提携商品「ちくぎんビジネスローン」、「ちくぎんサポートローン」、当行独自商品「ちくぎんクイックローン」等を引き続き積極的に推進しております。

②事業価値に着目した融資手法の開発等、地域取引先企業の資金調達手段の多様化に取り組んでいます。

経営理念に基づき地域社会への社会貢献活動に取り組んでいます

当行は、「良き企業市民」としての社会的責任を果たすため、その一環として様々な社会貢献活動を展開しています。

環境保全・美化活動

①古紙リサイクル活動の推進

平成16年3月に久留米市の古紙リサイクル奨励制度に登録し、ゴミ減量の一環として古紙のリサイクルを推進しております。

②全行員一斉「地域貢献清掃活動」の実施

当行の創立50周年を機に、全行員一体となって「地域社会へのご奉仕」を実践するため、平成14年10月より毎月1回、全行員による店舗周辺の道路や公園等のボランティア清掃活動を行っています。



③美化運動への参加

地域の皆さまとともに、「都心部道路美化キャンペーン」、「筑後川河川敷美化ノーポイ運動」等に毎年積極的に参加し、地域と一体となった活動を続けています。



青少年の健全な育成を願って

「ちくぎん杯少年サッカー大会」の開催

この大会は、サッカーを通して青少年の心と体の健全な育成を願って、平成5年から毎年4月、久留米市安武町の筑後大堰グラウンドにて開催しております。年々充実した大会となっており、平成18年度の大会には、久留米市内14チームと福岡県内および近県からの招待18チームの合わせて32チームに参加いただき、小学生570余名が出場されました。



地域行事への積極参加

当行は、毎年「くるめ水の祭典」などの地域イベントに役職員が積極的に参加し、地域の皆さまとの心と心のふれあいを大切にしております。



「小さな親切運動」の推進

昭和58年7月、くるめ「小さな親切」運動の会発足と同時に役職員が会員となり、今日まで小さな親切の実践に取り組んでまいりました。また、平成5年4月から当行本店内に同運動の会久留米支部の事務局を設置し、当行の会長が同支部の会長を務めさせていただいております。

各種講演会の開催

地域の皆さまに対する情報提供の一環として「福岡政行先生チャリティ講演会」・「経済財政白書講演会」・「九州経済白書説明会」等を毎年開催し、ご好評をいただいています。

地域の講演会への講師の派遣

地域の学校やロータリークラブ・公民館等で開催される会議や講演会で、当行役職員が経済や金融等の話題について解説し、皆さまのお役に立てればと思っております。

利便性



金融犯罪が多発しています！

通帳・印鑑・キャッシュカードの盗難にご注意！

- 通帳・印鑑・キャッシュカードは別々に、厳重に保管されるようお願いいたします。また、運転免許証や保険証などご本人であることを示す公的書類も通帳などとは別に保管されることをお勧めします。
- 万一、通帳・印鑑・キャッシュカードのいずれか一つでも紛失された場合は、すぐにお取引店へご連絡ください。早朝・夜間及び休日についてはATMサービスセンターにご連絡ください。

	受付時間帯	連絡先	連絡先電話番号
平日	8:45～18:00	お取引店またはお近くの筑邦銀行	店舗ネットワークをご覧ください。
	18:00～翌日8:45	ATMサービスセンター	0942-35-0037
土・日・祝	24時間受付		

- 通帳の記帳はできるだけ頻繁にしていただいて、不審な取引がないかを確認してください。

キャッシュカードの暗証番号は大丈夫ですか？

- 「生年月日」「電話番号」「自家用車のナンバー」など、他人に推測されやすい番号をキャッシュカードの暗証番号に使用するは大変危険です。もし、このような番号をご使用になっていて被害にあわれた場合、補償が減額されることがありますので、至急変更されるようお願いいたします。また、暗証番号をカードに書き込んだり、メモと一緒に保管していたりすると、被害にあわれた場合に補償を受けられませんのでご注意ください。
- 暗証番号の変更はお取引店の窓口又はATMでお取り扱いできます。
- 銀行員を装って電話をかけ「暗証番号を変更する」などと言って、暗証番号を聞きだそうとする犯罪がおきています。当行行員がお客さまに暗証番号をお聞きすることはありません。
- キャッシュカードはどんなに短時間であっても他人に預けたり、渡したりしないでください。カード情報が読み取られる危険性があります。

個人情報保護について

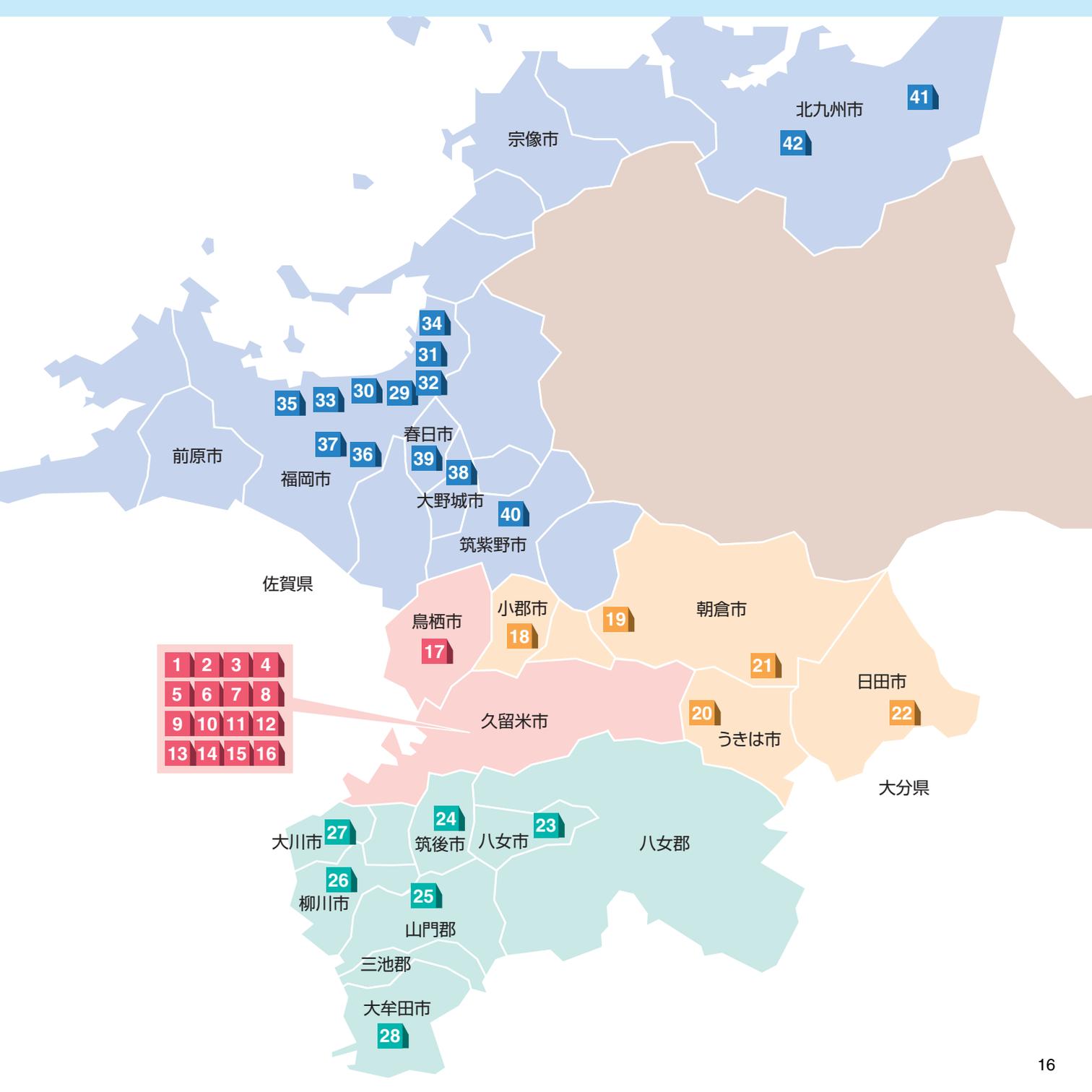
平成17年4月からの「個人情報の保護に関する法律」の完全施行にともない、当行では個人

情報の保護・管理を厳格に行うべく、行内態勢の整備に万全を尽くしております。

店舗ネットワーク

当行は、福岡県内（主として久留米地域、東部地域、南部地域、福岡・北九州地域）のほか、鳥栖市（佐賀県）及び日田市（大分県）とその近隣地域を営業基盤としています。

番号	店名	ATMの稼働時間			住所	電話番号
		平日	土曜	日曜・祝日		
1	本店営業部	8:00~21:00	9:00~19:00	9:00~19:00	久留米市諏訪野町2456-1	0942-32-5331
2	中央町支店	8:00~19:00	9:00~19:00	9:00~19:00	久留米市城南町14-7	0942-33-9116
3	国道通支店	8:00~20:00	9:00~19:00	9:00~19:00	久留米市天神町1-6	0942-33-8471
4	日吉町支店	8:00~21:00	9:00~19:00	9:00~19:00	久留米市日吉町16-22	0942-32-5261
5	くしはら支店	8:45~18:00			久留米市東櫛原町2189-1	0942-39-3691
6	荒木支店	8:00~20:00	9:00~19:00	9:00~19:00	久留米市荒木町白口1877-7	0942-26-3161
7	国分支店	8:00~18:00	9:00~19:00	9:00~19:00	久留米市国分町720-7	0942-21-7131
8	高良内支店	8:45~18:00			久留米市青峰2-1-24	0942-43-2333
9	長門石支店	8:00~21:00	9:00~19:00	9:00~19:00	久留米市長門石3-10-1	0942-38-5731
10	津福支店	8:00~20:00	9:00~19:00	9:00~19:00	久留米市津福本町1643-1	0942-34-6511
11	上津支店	8:45~18:00			久留米市上津町1678-6	0942-21-4681
12	南町支店	8:00~20:00	9:00~19:00	9:00~19:00	久留米市南3-27-27	0942-21-4311
13	十三部支店	8:45~18:00			久留米市合川町52-4	0942-43-3911
14	東合川支店	8:00~21:00	9:00~19:00	9:00~19:00	久留米市東合川15-2-21	0942-44-5500
15	大善寺支店	8:00~20:00	9:00~19:00	9:00~19:00	久留米市大善寺町宮本2200	0942-26-8971
16	田主丸支店	8:45~18:00	9:00~19:00	9:00~19:00	久留米市田主丸町田主丸618	0943-72-2171
17	鳥栖支店(佐賀県)	8:45~19:00	9:00~19:00	9:00~19:00	鳥栖市元町1335-5	0942-83-2801
18	小郡支店	8:45~20:00	9:00~19:00	9:00~19:00	小郡市小郡394-14	0942-73-3211
19	甘木支店	8:45~19:00	9:00~19:00	9:00~19:00	朝倉市甘木1055-8	0946-22-3920
20	吉井支店	8:45~18:00	9:00~19:00	9:00~19:00	うきは市吉井町1430-1	0943-75-2101
21	杷木支店	8:45~18:00			朝倉市杷木池田727	0946-62-1125
22	日田支店(大分県)	8:45~18:00	9:00~19:00	9:00~19:00	日田市本庄町1-8	0973-24-3171
23	八女支店	8:45~18:00	9:00~19:00	9:00~19:00	八女市大字本村344-7	0943-23-3141
24	筑後支店	8:45~21:00	9:00~19:00	9:00~19:00	筑後市大字山の井718-1	0942-53-2188
25	瀬高支店	8:45~18:00			山門郡瀬高町大字下庄1429-7	0944-62-2143
26	柳川支店	8:45~18:00	9:00~19:00	9:00~19:00	柳川市隅町72	0944-72-2131
27	大川支店	8:45~18:00			大川市大字榎津240	0944-87-2134
28	大牟田支店	8:45~18:00			大牟田市築町2-4	0944-52-5271
29	福岡支店	8:45~18:00	9:00~19:00	9:00~19:00	福岡市中央区高砂1-24-20	092-521-1451
30	赤坂門支店	8:45~18:00			福岡市中央区舞鶴2-2-1	092-761-6404
31	博多支店	8:45~18:00			福岡市博多区東比恵1-3-9	092-411-7231
32	雑餉隈支店	8:45~18:00	9:00~19:00	9:00~19:00	福岡市博多区銀天町3-3-5	092-581-2831
33	西新町支店	8:45~18:00			福岡市早良区城西3-13-19	092-821-3331
34	名島支店	8:45~18:00			福岡市東区名島2-35-13	092-661-2811
35	姪浜支店	8:45~19:00	9:00~19:00	9:00~19:00	福岡市西区姪浜駅南1-2-14	092-891-7561
36	警弥郷支店	8:45~18:00			福岡市南区警弥郷1-14-1	092-572-3911
37	中尾支店	8:45~18:00			福岡市南区中尾2-3-24	092-561-2231
38	大野支店	8:45~21:00	9:00~19:00	9:00~19:00	大野城市白木原5-3-1	092-591-3111
39	春日支店	8:45~18:00			春日市ちくし台2-5	092-501-1531
40	二日市支店	8:45~20:00	9:00~19:00	9:00~19:00	筑紫野市二日市北1-12-1	092-922-6661
41	北九州支店	8:45~18:00			北九州市小倉北区米町2-2-1	093-531-3631
42	黒崎支店	8:45~18:00			北九州市八幡西区岡田町2-23	093-621-0631



店舗外現金自動設備設置場所

設置場所	平日稼働時間	土曜日	日曜日	祝日
西鉄久留米駅出張所	8:00~21:00	●	●	●
西鉄久留米駅前出張所	8:00~21:00	●	●	●
一番街出張所	9:00~20:00	●	●	●
久留米六角堂広場出張所	9:00~21:00	●	●	●
久留米大学病院1階出張所	9:00~18:00			
久留米大学医療センター出張所	9:00~18:00	●		
久留米大学商学部出張所	9:00~18:00			
ハンドメーク上津店出張所	9:00~21:00	●	●	●
スーパー大栄上津店出張所	9:00~21:00	●	●	●
久留米工業大学出張所	10:00~17:00			
西鉄花畑駅出張所	8:00~21:00	●	●	●
聖マリア病院出張所	9:00~17:00	●	●	●
タイホー西町店出張所	9:00~21:00	●	●	●
タイホー津福店出張所	9:00~21:00	●	●	●
タイホー櫛原店出張所	9:00~21:00	●	●	●
タイホー十三部店出張所	9:00~21:00	●	●	●
タイホー国分店出張所	9:00~21:00	●	●	●
ゆめタウン久留米出張所	9:00~21:00	●	●	●
タイホー山川店出張所	9:00~21:00	●	●	●
タイホー野伏間店出張所	9:00~21:00	●	●	●
西鉄ストア宮ノ陣店出張所	9:00~21:00	●	●	●
JR久留米駅出張所	9:00~19:00	●	●	●
タイホー大石町店出張所	9:00~21:00	●	●	●
久留米駐屯地出張所	9:00~18:00			
久留米市役所出張所(2か所)	9:00~18:00			
サザンモール出張所	9:00~21:00	●	●	●
小郡市役所出張所	9:00~18:00	●		

設置場所	平日稼働時間	土曜日	日曜日	祝日
D&D大刀洗店出張所	9:00~20:00	●	●	●
タイホー北野店出張所	9:00~21:00	●	●	●
タイホー甘木店出張所	9:00~21:00	●	●	●
朝倉市役所出張所	9:00~18:00			
ジャスコ甘木店出張所	9:00~21:00	●	●	●
ゆめタウン八女出張所	9:00~21:00	●	●	●
九州大谷短大出張所	9:00~17:00			
柳川市役所出張所	9:00~18:00			
大牟田市役所出張所	9:00~18:00			
ソラリアプラザB1出張所	10:00~20:00	●	●	●
明治屋太宰府店出張所	9:00~20:00	●	●	●
筑紫野市役所出張所	9:00~17:00			
ゆめタウン筑紫野出張所	9:00~19:00	●	●	●
ミスターマックス北茂安店出張所	9:00~20:00	●	●	●

※施設内の現金自動設備のご利用については、
各施設の営業時間中となります。
(42ヶ所)
(平成18年5月10日現在)

入金できる設備 入金時間 9:00~18:00

土曜日・日曜日・祝日のATM・CDコーナー稼働時間

● 9:00~19:00 ● 9:00~14:00
● 9:00~17:00 ● 10:00~17:00

土曜日・日曜日・祝日のご利用手数料

筑邦銀行のCD・ATMをご利用された場合

	筑邦銀行通帳・カードでの「お引き出し」	他行カードでの「お引き出し」
9:00~17:00	105円	210円
17:00~19:00		ご利用いただけません

※店舗により、ご利用時間帯及びサービス内容が異なります。
※十八銀行、佐賀銀行、西日本シティ銀行のカードによる「お引き出し」は、当行カードによる「お引き出し」と同様の手数料となります。
※お振込予約の場合は、別途振込手数料が必要となります。

財務のご報告(連結)

第82期末 連結貸借対照表 (単位:百万円)

(平成18年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	33,055	預金	504,394
買入金銭債権	80	譲渡性預金	2,990
商品有価証券	335	借入金	6,391
有価証券	110,960	外国為替	0
貸出金	391,747	その他負債	3,416
外国為替	558	退職給付引当金	1,767
その他資産	7,835	再評価に係る繰延税金負債	1,813
動産不動産	17,916	支払承諾	9,679
繰延税金資産	1,449	負債の部合計	530,452
支払承諾見返	9,679	(少数株主持分)	
貸倒引当金	△7,727	少数株主持分	2,006
		(資本の部)	
		資本金	8,000
		資本剰余金	5,759
		利益剰余金	13,232
		土地再評価差額金	2,201
		その他有価証券評価差額金	4,334
		自己株式	△97
		資本の部合計	33,431
資産の部合計	565,890	負債、少数株主持分及び資本の部合計	565,890

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第82期 連結損益計算書 (単位：百万円)

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

科目	金額
経常収益	17,773
資金運用収益	10,045
(うち貸出金利息)	(8,870)
(うち有価証券利息配当金)	(1,158)
役務取引等収益	2,050
その他業務収益	4,779
その他経常収益	897
経常費用	15,736
資金調達費用	300
(うち預金利息)	(161)
役務取引等費用	676
その他業務費用	4,707
営業経費	7,779
その他経常費用	2,272
経常利益	2,037
特別利益	17
特別損失	105
税金等調整前当期純利益	1,948
法人税、住民税及び事業税	1,041
法人税等調整額	△272
少数株主利益	238
当期純利益	941

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第82期 連結剰余金計算書 (単位：百万円)

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

科目	金額
(資本剰余金の部)	
資本剰余金期首残高	5,759
資本剰余金期末残高	5,759
(利益剰余金の部)	
利益剰余金期首残高	12,515
利益剰余金増加高	1,026
当期純利益	941
土地再評価差額金取崩額	84
利益剰余金減少高	309
配当金	309
自己株式処分差損	0
利益剰余金期末残高	13,232

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第82期 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,809
財務活動によるキャッシュ・フロー	△326
現金及び現金同等物に係る換算差額	2
現金及び現金同等物の増減額	△7,957
現金及び現金同等物の期首残高	39,143
現金及び現金同等物の期末残高	31,186

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務のご報告(単体)

第82期末 貸借対照表 (単位:百万円)

(平成18年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	32,322	預金	505,495
買入金銭債権	80	譲渡性預金	2,990
商品有価証券	335	外国為替	0
有価証券	110,892	その他負債	1,498
貸出金	395,332	退職給付引当金	1,753
外国為替	558	再評価に係る繰延税金負債	1,813
その他資産	3,757	支払承諾	9,679
動産不動産	9,441	負債の部合計	523,231
繰延税金資産	1,196	(資本の部)	
支払承諾見返	9,679	資本金	8,000
貸倒引当金	△7,157	資本剰余金	5,759
		資本準備金	5,759
		利益剰余金	12,999
		利益準備金	2,724
		任意積立金	8,800
		当期末処分利益	1,474
		土地再評価差額金	2,201
		その他有価証券評価差額金	4,333
		自己株式	△86
		資本の部合計	33,207
資産の部合計	556,439	負債及び資本の部合計	556,439

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第82期 損益計算書 (単位:百万円)

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

科目	金額
経常収益	12,923
経常費用	11,300
経常利益	1,623
特別利益	1
特別損失	105
税引前当期純利益	1,519
法人税、住民税及び事業税	880
法人税等調整額	△286
当期純利益	925
前期繰越利益	620
土地再評価差額金取崩額	84
自己株式処分差損	0
中間配当額	155
当期末処分利益	1,474

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第82期 利益処分 (単位:百万円)

科目	金額
当期末処分利益	1,474
利益処分額	855
配当金(1株につき2円50銭)	155
任意積立金	700
別途積立金	700
次期繰越利益	619

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

役員／株式の状況

役員氏名 (平成18年6月29日現在)

取締役会長 (代表取締役)	井手 和 英
取締役頭取 (代表取締役)	山 下 洋
取締役副頭取	佐藤 清一郎
常務取締役	空閑 重信
常務取締役	日隈 篤裕
取締役相談役	前川 博
取締役	相良 徹
取締役	田中 靖正
常勤監査役	吉田 茂
常勤監査役	豊島 安治
監査役	上野 寛
監査役	薬師寺 道明

- (注) 1. 取締役佐藤清一郎は、定時株主総会終了後開催の取締役会において、取締役副頭取に就任いたしました。
 2. 監査役上野寛、薬師寺道明の両名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況 (平成18年3月31日現在)

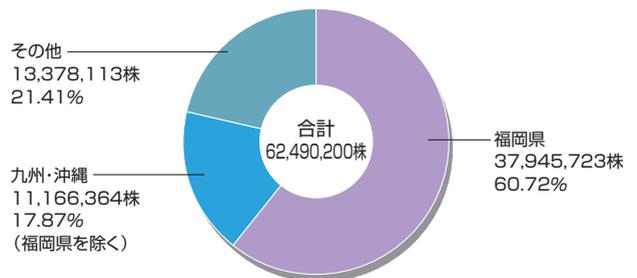
●株式の所有数別分布表

区分	株主数(名)	株主数比率(%)	株数(株)	株数比率(%)
1,000,000株以上	10	0.29	15,715,009	25.15
500,000株以上	9	0.26	6,063,331	9.70
100,000株以上	71	2.09	15,625,173	25.00
50,000株以上	76	2.24	4,989,881	7.99
10,000株以上	773	22.73	14,039,084	22.47
5,000株以上	501	14.73	3,115,104	4.98
1,000株以上	1,218	35.81	2,641,303	4.23
1,000株未満	743	21.85	301,315	0.48
合計	3,401	100.00	62,490,200	100.00

●株式の所有者別分布状況



●株式の地域別分布状況



株式のご案内

1. 事業年度 毎年4月1日から翌年の3月31日まで
2. 配当金の確定日 毎年3月31日
3. 中間配当金の確定日 毎年9月30日
4. 定時株主総会 毎決算日後3か月以内に開催
5. 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
6. 同事務取扱所 〒100-0005
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
7. 連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 - ・各種お問い合わせ
0120-232-711 (通話料無料)
 - ・各種手続用紙のご請求
0120-244-479 (通話料無料)
 - ・ホームページアドレス
<http://www.tr.mufg.jp/>
8. 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
9. 上場証券取引所 証券会員制法人 福岡証券取引所
10. 公告掲載紙 福岡市において発行する西日本新聞に掲載
決算公告につきましては、下記のホームページに掲載しております。
 - ・ホームページアドレス
<http://www.chikugin.co.jp/>



筑邦銀行総合企画部広報室
〒830-0037 久留米市諏訪野町2456-1
TEL (0942) 32-5331 (代)

<http://www.chikugin.co.jp/>